



## 谷村 佳幸 (たにむら よしゆき) 氏

日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社

副社長 最高人事責任者 (CHRO) (兼) 最高コンプライアンス責任者 (CCO)

1987年九州大学総合理工研究所にて修士課程を卒業後、日本アイ・ビー・エムに入社。

日本アイ・ビー・エムではアカウント SE、プロジェクトマネージャー、デリバリーエグゼクティブを経験後、2010年アイティフロンティアに入社。2013年取締役副社長に就任するとともに、CTO(Chief Technology Officer)としてデリバリー組織全体を統括。2014年7月、TCSと三菱商事株式会社との合弁会社である日本TCSが発足し、副社長 サービスデリバリー担当として2021年3月までデリバリー組織を統括。2021年4月より現職。

タタコンサルタンシーサービズ (TCS) は、世界中の大手企業の変革への道のりを支援している、50年以上の歴史を持つ IT サービス、コンサルティング、およびビジネスソリューション企業です。世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタ・グループに属し、最高水準のトレーニングを受けた50万人を超える人材が世界46カ国で事業を展開しています。TCSはコンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用したBPS、エンジニアリング・サービスやソリューションを総合的に展開しています。これらを卓越したソフトウェア開発の基準として認識されている、TCS独自の「ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。近年には時価総額1,000億ドルを突破し、2020年10月には世界のITサービス企業の中で時価総額トップに躍り出るなど、世界有数のITサービス企業に成長してきました。

日本タタ・コンサルタンシー・サービズ (日本TCS) は、TCSと、グローバルで多様なビジネスを展開する三菱商事の合弁会社として2014年に発足しました。日本とグローバルのハイブリッドなチーム編成でサービスを提供し、世界と日本の知見を融合した最高のソリューションをお客さまにお届けしています。現在、ビジネスパートナーを含む国内約4,000人と、インドにある日本企業専用デリバリーセンター (JDC: Japan-centric Delivery Center) 約4,000人、総勢8,000人以上のプロフェッショナルがグローバルで連携し、あらゆる規模・内容の要望に応えられる拡張性とケイパビリティで、日本のお客さまをサポートしています。

日本TCSは、グローバルなイノベーション力と集合知および日本企業の強みへの深い理解により、お客さまの「Gateway to Globalization」(業種やビジネスの拠点を問わず、お客さまの競争力を高めるパートナー) かつ「Catalyst for Technology-led Business Innovation」(ITやデジタル技術を駆使し、お客さまのビジネス変革を加速するパートナー) として、皆さまの成長と変革、そしてパーパスの実現に共に取り組みます。